

# 令和7年度 河内中学校 学校評価書

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### (1) 基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

### (2) 具体目標

#### ① 実力を養う

たくましい体力と何事にもくじけぬ強い精神力(耐性)を養い、自ら学習しようとする意志力をもつ生徒を育てる。

#### ② 友愛を深める

礼を重んじ、友情を育て、深め、思いやりのある生徒を育てる。

#### ③ 品性を高める

人格向上を目指して自己を磨き、豊かな心をもつ生徒を育てる。

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

### (1) 「魅力ある学校」(感動ある学校, 学び合う学校)

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践
- ② 感動的な学校行事の推進
- ③ 言語活動と読書活動の推進
- ④ 人権意識の涵養と規範意識の醸成
- ⑤ 保護者との連携強化

### (2) 「地域とともにある学校」(カリキュラムマネジメント)

- ① 地域教育力の活用
- ② 地域行事への生徒の参加・協力の推進
- ③ 「宇都宮の良さ」「河内地区の良さ」を発信し、考えさせる指導の充実
- ④ 地域ボランティア活動への参加
- ⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

### (3) 「やりがいのある学校」

- ① 協働する教職員組織の構築
- ② 教職員の授業力の向上と生徒の学力の向上
- ③ 教職員の服務規律の確保
- ④ 教職員の業務(働き方)の改善

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### (1) 確かな学力の育成

- ① 教職員の資質・能力の向上  
(校外研修・一人1授業公開・地域学校園全体研修による授業力の向上)
- ② 「考える力を育む言語活動の充実」(学校課題)
- ③ 情報活用能力を育成する教育の充実(GIGAスクール構想の実現)
- ④ 家庭学習の充実(タブレット端末の利用・AI型個別学習ドリルの有効活用)

### (2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」(考える道徳・議論する道徳)の充実
- ② 読書に親しむ態度の育成
- ③ あいさつ、返事、言葉遣いの指導
- ④ 「いじめ防止基本方針(改訂版)」の着実な運用
- ⑤ 感動体験を重視した学校行事の充実(運動会・合唱コンクール・校内マラソン大会等)

### (3) 健康・体力の向上

- ① 健康的な生活を送るための指導の充実
- ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
- ③ 縦割りによる運動会の実施
- ④ 安全に配慮した校内マラソン大会の実施
- ⑤ 自他の安全を守る能力の育成(避難訓練・安全集会・感染症防止等)

### (4) グローバル社会への対応と郷土愛の醸成

- ① 英語によるやりとりを中心とした授業の推進
- ② ALTの活用

- ③ 多様な文化に触れる学習の実施
- ④ 郷土への愛情を育む学習の推進（「宇都宮学」・「道徳科地域教材」の実施）
- （5）情報社会と科学技術への対応
  - ① デジタル・シティズンシップを育む指導の推進
  - ② プログラミング教育の推進
  - ③ 一人1台端末の効果的な活用
  - ④ 図書を活用した学習及び「NIE」の推進
- （6）インクルーシブ教育及び個に応じた指導の充実
  - ① 障がいに対する理解・研修及び合理的配慮への取組
  - ② いじめや不登校の未然防止，早期対応，組織的な対応  
（Q-Uの活用・SCとの連携・校内教育支援センター支援員との連携・関係機関との連携・家庭との連携）
  - ③ かがやきルームの効果的活用
  - ④ 別室登校支援の充実
- （7）学校における教職員の働き方改革の推進
  - ① 多様な専門スタッフと連携したチーム力の向上
  - ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定
  - ③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理
  - ④ 部活動指導体制の見直し
  - ⑤ 学校行事の見直しと実施に向けた練習・準備等のスリム化
- （8）地域とともにある学校づくりの推進（カリキュラムマネジメント）
  - ① コミュニティ・スクールの運営
    - ・ 学校運営基本方針の承認
    - ・ 教育活動に対する意見（助言）の反映
    - ・ 地区体育祭，文化祭等への参加協力
    - ・ 書写指導，図書館，花壇整備等における地域ボランティアの活用
    - ・ 「地域未来塾」（放課後学習支援活動）への参加呼びかけ
  - ② 宮・未来キャリア教育の推進及び地域人材の活用  
（ふれあい文化教室・福祉教育・キャリア教育・健康教育）
  - ③ 「学校マネジメントシステム」の中間期評価の実施と活用
  - ④ 学校だより・学年だよりやホームページ等を通しての積極的な情報発信

【河内地域学校園教育ビジョン】

『すこやか河内 ～小中一貫教育を通して，子どもたちの心身の健やかな成長を目指します～』

#### 4 教育課程編成の方針

- （1）関連する法令，栃木県教育振興基本計画，宇都宮市学校教育推進計画に従い，本校教育目標が達成できるように全職員の理解と協力により編成する。
- （2）地域や生徒の実態，学校の施設設備，職員組織を考慮し，必修教科，特別の教科道徳，総合的な学習の時間及び特別活動（学級活動，生徒会活動，学校行事）の調和を図って編成する。
- （3）基礎的・基本的な内容の指導の徹底，個性を生かす教育の充実，自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成を図り，生涯教育の基礎を培うことを目標に編成する。
- （4）あらゆる教育活動の場面で，「学び合い・喜び合い・励まし合う」活動内容や場を設定し，生徒同士や教職員および地域の人々との交流を深めながら，3あい運動の深化・拡充を目指し編成する。
- （5）学校の教育活動全体を通じて，体力の向上や健康の増進を図るため体育的活動を積極的に行い，健康で安全な生活を送るための基盤となるよう編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>(1) 学校運営</p> <p>① 「魅力ある学校」づくり</p> <p>② 感動的な学校行事の推進</p> <p>○③ 計画的な小中一貫教育の推進</p> <p>④ 教職員の働き方の改善</p> <p>(2) 学習指導</p> <p>① 学力調査等を活用した共通実践</p> <p>② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <p>○③ 学校園授業コンセプトの充実</p> <p>○④ 言語力の基礎の徹底</p> <p>(3) 生徒指導</p> <p>① 「特別の教科 道徳」の充実</p> <p>② 体験活動・読書活動の充実</p> <p>○③ 自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒の育成 ～規範意識の醸成及び正しい言動での自己表現～</p> <p>(4) 健康（体力・保健・食・安全）</p> <p>① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け、自分の身体の状態を理解し、体力向上に励む生徒の育成』</p> <p>○② 運動に親しむための体力づくり</p> <p>○③ 望ましい食習慣の形成</p> <p>④ 生徒の健康・安全を第一に考えた、学校生活や学校行事等の計画・運営（感染症対策等）</p>
--

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上	○①「考える力を育む言語活動の充実」を効果的に図ることのできる場面、方法を研究し、主体的、対話的に学ぶ生徒の育成を推進する。 ② 方法や形態等の工夫を図り、言語活動の場면을効果的に取り入れた授業を行う。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答は 87.9%で、目標指標を 2.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ○「考える力を育む言語活動の充実」を効果的に図ることのできる場面、方法を研究し、主体的、対話的に学ぶ生徒の育成を推進する。
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 「特別の教科 道徳」の効果的な授業実践により生徒の道徳性の向上を目指す。 ② 温かな人間関係を基盤とした学級経営を推進する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 92.8%で、目標指標を 7.8 ポイント上回り、前年度より 0.3 ポイント上回った。 【次年度の方針】 今後も「特別の教科 道徳」の効果的な授業実践により生徒の道徳性の向上を目指すとともに、学級経営の中で温かな人間関係作りを目指す。

	<p>A3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 生徒が興味や関心をもって学習に取り組む課題設定についての授業研究を推進する。</p> <p>② 運動会や合唱コンクールに、学級や団で協力して取り組ませ、達成する喜びを感じさせる。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 83.2%で、目標指標を 3.2 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 授業において、生徒が興味・関心をもって学習に取り組む課題設定を行う。また、教員間で授業研究を推進する。</p>
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 感染症に対する予防策を考え、実践することで、自他の健康を守る。</p> <p>② 交通安全教室や、避難訓練、日常の巡回指導での声かけを通じて、安全に生活することの大切さを意識付ける。</p> <p>③ 教科・領域と食育のつながりについて改めて確認し、効果的に食育を実践する。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 84.8%で、目標指標を 5.2 ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 自転車の乗り方等の交通安全に関わる指導を継続して行い、安全に生活する意識の向上を図る。昼休み等の巡回指導の徹底に努める。</p>
1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	<p>A5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① キャリアパスポートの記入や宮っ子ダイアリーを通して、客観的に自分のよさや成長を見つめるとともに、互いの意見を認め合うことで、自己肯定感を高める。</p> <p>② 学級における話合いの場において、互いの意見を尊重し合う姿勢を育成し、話合い活動の充実を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 88.6%で目標指標を 3.6 ポイント上回り、前年度より 1.7 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 キャリアパスポートや宮っ子ダイアリーを通して、自分の成長を見つめ、自己肯定感を高める。学級での話合い活動などを通して、互いの意見を尊重する授業を展開する。</p>
2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① A L T との交流の場面を意図的に設定し、積極的に会話するよう生徒に働きかける。</p> <p>② インターナショナルボードを充実させたり、生徒会活動で、国際交流に関する内容を積極的に取り上げたりする。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 73.9%で、目標指標を 3.9 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 インターナショナルボードの更なる充実および周知等により、生徒と A L T の積極的な交流を促す。生徒会活動で、国際交流に関する内容をとり上げる場面を模索する。</p>
	<p>A7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 宇都宮学の授業を充実させ、宇都宮のよさを知らせる。</p> <p>② 道德科の授業で、郷土の良さについて改めて考える機会をもつ。</p> <p>③ 宇都宮のよさを各種たより等で発信し、生徒、保護者、地域と共有する。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 86.2%で、目標指標を 6.2 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 宇都宮学を通して郷土宇都宮のよさを学ぶとともに、道德の授業等で郷土愛を高めさせる。また、宇都宮のよさを各種たより等で発信し、生徒、保護者、地域と共有する。</p>
2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	<p>A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① I C T 機器の適切な活用について研究し、効果的に利用する。</p> <p>② 総合の調べ学習等、図書室を授業で積極的に利用する。図書資料のよさ、活用の場面について確認し、I C T 機器との併用に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 93.9%で、目標指標を 3.9 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 I C T 機器の適切な活用について研究し、効果的に利用するよう努める。また、図書資料のよさ、活用の場面について確認し、I C T 機器との併用に努める。</p>
2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① SDGs 目標 12「つくる責任、つかう責任」について考えさせ、生徒会として可能なリサイクル活動を展開する。</p> <p>② 地域協議会の協力を得て、学校の緑化や環境保全活動を積極的に展開する。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 74.2%で、目標指標を 4.2 ポイント上回った</p> <p>【次年度の方針】 SDGs 目標 12「つくる責任、つかう責任」について考えさせ、生徒会として可能なリサイクル活動を展開する。花壇整備を中心に学校の緑化に努める。</p>

<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 校内支援委員会、教育相談係会、生徒指導係会の情報を全職員で共有し、生徒の支援に生かせるようにする。</p> <p>② かがやきルーム担当と教科担任が連携を密にし、効果的な支援が行えるようにする。</p> <p>③ スクールカウンセラー、外部機関等との連携を図り、保護者への支援にも努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 100%で、目標指標を 10.0 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 校内組織の適切な運営に加え、スクールカウンセラー、外部機関等との連携を密にし、生徒及び保護者への支援の充実を図る。</p>
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① いじめゼロ集会やスマホ等の適正な使い方など、いじめ根絶を図る指導を継続的にを行い、その取組を学校だよりや生徒指導だよりなどにより情報提供することで、家庭との連携、協力を図る。</p> <p>② 教育相談を計画的に行うほか、アンケート調査を実施し、いじめの早期発見・未然防止に努める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.8%で、目標指標を 5.8 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 教育相談やアンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。いじめ根絶を図る指導を継続的にを行い、学校内で生徒の様子について情報を共有する。</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生徒一人一人のよさに目を向け、認め伸ばす指導をする。</p> <p>② 教育相談係会での検討を基に、生徒一人一人の状況にあった支援に努める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 94.3%で、目標指標を 4.3 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 教育相談係会等における情報共有、支援の方向性の確認をもとに、全職員で支援と指導を行う。教育相談室を活用し、生徒一人一人にあった支援に努める。</p>
<p>3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 一人一係活動を実践するなど一人一人を大切にしたり、温かい雰囲気での学級経営に努める。</p> <p>② 前年度までの実績や反省等を踏まえ、生徒会活動と各種学校行事の活性化を図り、生徒の自主的・継続的な活動を推進する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.2%で、目標指標を 5.2 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 生徒一人一人が役割をもち、活動の様子を互いに認め合えるような環境づくりに努め、温かく協力的な集団を育成する。</p>
<p>3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 「一人1授業」等の研修により授業力向上に努め、個に応じた指導、分かる授業、楽しい授業を展開する。</p> <p>② 部活動休養日や、週末の学習課題を工夫することにより家庭学習を習慣化させ、基礎学力の定着に努める。</p> <p>③ 地域協議会との連携により、「地域未来塾」の効果的な運用を図る。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 91.3%で、目標指標を 6.3 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 「一人1授業」等の研修による授業力向上、日頃の情報交換による授業の工夫改善を実践する。効果的な家庭学習へ向けた支援や地域未来塾の適切な運用を図る。</p>
<p>4- (1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 教職員全員が教育目標や、学校経営の重点を意識し、目標をもって業務にあたる。</p> <p>② スクールカウンセラー、校内教育支援センター支援員等の専門スタッフとの積極的な連携を推進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 90.9%で、目標指標を 15.9 ポイント上回り、前年度より 12.3 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 教職員全員が教育目標や学校経営の重点を意識し、教職員が一丸となって業務にあたる。</p>
<p>4- (2) チーム力の向上</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 文書やデータの管理方法を改善し、前年度の資料を基に業務を行えるようにする。</p> <p>② 行事内容の精選や、会議の効率化を推進する。</p> <p>③ ホームページやさくら連絡網の活用、部活動の運営等、働き方改革に伴う取組を促進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 75.8%で、目標指標を 4.2 ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 必要なデータが引き出しやすいシステムづくりを行う。行事内容の精選を積極的かつ慎重に行う。ホームページやさくら連絡網の活用、部活動の運営等、働き方改革に伴う取組を促進する。</p>
<p>4- (3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 文書やデータの管理方法を改善し、前年度の資料を基に業務を行えるようにする。</p> <p>② 行事内容の精選や、会議の効率化を推進する。</p> <p>③ ホームページやさくら連絡網の活用、部活動の運営等、働き方改革に伴う取組を促進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 75.8%で、目標指標を 4.2 ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 必要なデータが引き出しやすいシステムづくりを行う。行事内容の精選を積極的かつ慎重に行う。ホームページやさくら連絡網の活用、部活動の運営等、働き方改革に伴う取組を促進する。</p>

<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①地域学校園研修や各部会・教科部会等を定期的実施し、計画的に推進する。 ○②「小中一貫教育だより」や「学校だより」等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 81.6%で、目標指標を 1.6 ポイント上回った。 【次年度の方針】 地域学校園研修や各部会・教科部会等の実施回数や活動内容の見直しを図る。保護者や地域への情報発信を工夫する。</p>
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① P T A 活動の活性化を図る。 ② ホームページの内容の充実を図り、地域・家庭への情報発信力を高め、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 83.4%で、目標指標を 3.4 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ホームページの内容の整理を行い、分かりやすく情報を発信するよう努める。</p>
<p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 月例安全点検や、校内巡回を通じて危険箇所所の早期発見、対処に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 93.9%で、目標指標を 3.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 安全点検を確実にを行い、速やかに修繕する。特に老朽化した部分に注意を払い、大規模な修繕は市と連携して進める。</p>
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① I C T 支援員との連携を図るとともに、校内研修等を行うことで教職員のスキルアップを図り、タブレット端末の活用を推進する。 ② 校内の I C T 機器が効率よく使えるよう、利用法を工夫する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 97.0%で、目標指標を 12.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 タブレット端末の活用範囲の拡大に備え、I C T 支援員との連携により教職員のスキルアップを図る。</p>
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①全教育活動を通じて、明るくさわやかなあいさつができるように、全職員で指導を行う。 ○②小中一貫教育、学校交流連携促進部会との関連を図りながら、小中学校、地域ぐるみのあいさつ運動を展開する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 81.8%で、目標指標を 1.8 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ○地域学校園あいさつ運動等を継続するとともに、活動を周知することで地域ぐるみのあいさつ運動を活性化させる。 ○生徒の模範になるよう、教職員から率先してあいさつを行う。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① ルールを守る、いじめをしないなど、人として大切なことを全教職員が、すべての活動の中でしっかりと指導する。 ○②小中一貫教育、学校生活・適応支援部会との連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 94.0%で目標指標を 4.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 年度始めに、基準を端的に示しにくい校則については文章化し、教職員及び生徒に周知する。小中で協力しながら、規範意識を身に付けるよう指導・支援を行う。</p>
	<p>B3 生徒は、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教科の宿題以外に、自主学習ノートを主体的に利用するなど、一日に2時間は家庭学習に励むよう指導する。 ○②小中一貫教育、学力向上部会と連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 76.9%で、目標指標を 3.1 ポイント下回った。 【次年度の方針】 ○家庭学習にデジタル教材（A I ドリル）を導入するなどして、自主学習の充実を図る。</p>

	<p>B4 生徒は、学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生徒主体の学校行事や生徒会活動が実施できるよう、各担当者が意図的、計画的に生徒を指導する。</p> <p>② PDCAサイクルにより、活動内容の改善・充実を図るとともに、活動内容を整理しスリム化を目指す。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 97.0%で、目標指標を 7.0 ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 PDCA サイクルの定期的な評価と見直しを習慣化し、活動内容の改善・充実を図る。</p>
	<p>B5 生徒は、緑化活動や清掃など、環境整備に熱心に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 自問清掃への取組等、清掃活動を充実させる。</p> <p>② 教室の整理・整頓等、落ち着いた学習環境が維持できるよう、生徒に積極的に指導する。</p> <p>③ 生徒会活動における校内緑化活動を充実させる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 78.1%で、目標指標を 1.9 ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 全教職員共通理解のもと、清掃活動への取組の充実を図る。生徒会活動における校内緑化活動を充実させる。</p>
	<p>B6 生徒は、読書の習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上</p>	<p>① 朝の読書を継続・充実させ、全校生徒に読書習慣を身に着けさせる。</p> <p>② 図書委員会によるブックトーク、ビブリオバトル等、読書啓発活動を行う。</p> <p>③ 保護者ボランティアによるブックトークを行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 62.8%で、目標指標を 12.2 ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 朝の読書や読書マラソンなど読書記録をつけたり、各教科の授業で図書室を利用して読書を楽しむ時間を味わわせたりして、読書量を増やす活動を実施する。</p>

### 【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・宇都宮市の共通評価項目である 22 の質問 (A1～A20, B1～B2) において、対象者別 (生徒・教職員・保護者・地域住民) に回答を集計した全 63 項目のうち、肯定的回答割合が 80%を上回った項目は 51 項目 (約 81%, 前年度は約 79%) であり、本校の教育活動が全体として肯定的に受けとめられていると考えられる。また、市の平均を上回っている項目は 19 項目 (約 30%, 昨年度は約 52%, 一昨年度は約 28%) であり、一昨年度と同程度である。今後も本校教育目標の実現に向けて、より一層充実した取り組みを行う必要がある。
- ・「自己評価」である教職員評価では、学校独自の 4 項目を含めた全 26 項目中 22 項目 (約 85%) で肯定的回答割合が 80%を上回っており、前年度と同程度の結果であった。引き続き全職員で協力して取り組んでいきたい。
- ・本校ならではの教育活動にあたる B3～B6 の独自の質問においては、対象者別 16 項目のうち 8 項目 (約 50%) で肯定的回答割合が 80%を上回ったものの、前年度より 20 ポイントほど低い結果であった。
- ・A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答割合は昨年度 78.6%で課題の一つであったが、今年度は 90.9%と大幅に増加した。チーム一丸となって取り組む意識が高まりよい傾向にある。
- A17「学校は、小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」の肯定的回答割合は、生徒・教職員・保護者・地域住民ともに昨年度を下回る結果となった。引き続き小学校との連携を密にし、地域学校園として児童生徒を育てるとともに、活動の広報についても充実させたい。
- ・B1「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」、B2「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」ともに生徒と教職員の間に回答の差が見られた。より高い水準の行動が求められていることを生徒に伝え、生徒自身が質の向上に向けて主体的に行動できるように支援していきたい。
- ・B3「生徒は、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。」B6「生徒は、読書の習慣が身に付いている。」の肯定的回答割合は、生徒・教職員ともに昨年度を下回る結果となった。学習や読書への取組について、支援を強化していきたい。

## 7 学校関係者評価

- ・ B1「あいさつ」 B2「きまりやマナー」について、生徒と教職員・保護者との結果のギャップが気になる。生徒の中ではきちんとできているという認識だが、教職員はさらに時と場に応じたあいさつを、また、きまりやマナーについても、教職員の立場からは、命を守るという意味でもっと真剣に考えてほしいという思いもある。
- ・ A4「健康や安全」について、生徒と教職員とのギャップがあるが、日常的に意識の違いがあるのだろうか。交通安全といっても大人が思う危険と子供が思う危険に差がある。
- ・ A11「いじめ」について、生徒・先生と保護者の回答に大きなギャップがある。家庭での様子が一番素の状態だから、保護者の数値が実態にあっているとも考えられる。教職員にもっと頑張ってもらいたいという保護者の思いの表れかもしれない。道徳の強化が必要なかもしれない。家で子どもは学校の様子を話してくれないので、保護者の立場としては心配な部分もある。一方、保護者にも自分の子供を見てもらいたい。分からないことを学校のせいにはしていないということはないだろうか。
- ・ R7の教職員による評価が厳しくなっているのはとてもよいことである。
- ・ B3「家庭学習」について、保護者の関心が高いことがうかがえるが、家庭学習がうまくいっていない状況があるのではないか。与えられた宿題は比較的しっかりできるが、現状として自主学習に課題がある。また個人差がある。地域学校園として小学校とも連携して自主学習の進め方について検討しているとのことなので、効果に期待したい。
- ・ B6「読書」について、家庭において子供たちは本よりスマホという現状がある。活字離れを大人も真剣に受け止め、努力していかなければならない。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 本校の教育活動は全体として肯定的に受けとめられている。また、改善が必要な部分もあるため、次年度、教育目標の実現に向けて取組を更に強化したい。
- ・ 教職員評価には全職員で協力して取り組んだ成果が表れてはいるものの、十分ではない。次年度、教育目標の実現に向けた取組を充実させるとともに、働き方改革も引き続き推進する。
- ・ A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答の数値が大幅に増加した。来年度もこの状態を維持し、引き続きチーム一丸となって教育目標実現に向けて取り組む。
- A17「学校は、小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」の肯定的回答割合は昨年度を下回る結果となった。更に小学校との連携を密にし、地域学校園として児童生徒を育てていく。
- ・ B2「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」では生徒と教職員の間回答の差が見られた。自転車の乗り方のマナーなど、学校外の生徒の様子に課題が見られる。社会の一員としての自覚と命の大切さについて引き続き指導を行うとともに、地域の協力を得ながら生徒の規範意識を育てる。
- ・ B6「生徒は、読書の習慣が身に付いている。」の肯定的回答割合は、2年続けて前年度を下回る結果となった。部活動や習い事などがあり家庭で読書の時間が取れない生徒もいるが、スマホの使用に費やす時間が多い傾向にあるという現状もある。学校における朝の読書の継続、読書記録の効果的な実施、各教科の授業における図書室の利用推進に取り組む。